

王滝村

議会だより



翔岳祭（小・中学校音楽会）

元年 9 月 定 例 会 概 要	2P	～	4P
一 般 質 問	5P	～	6P
木曾広域連合議会定例会報告他	7P	～	8P

No. 1 4 6

30年度一般会計 9,752万円の黒字

元年度補正予算 1億1,313万8千円を可決

9月定例議会は月11日に開会。2日目を24日に行い、平成30年度一般会計決算認定、令和元年度一般会計補正予算を含む議案全てを原案通り可決し閉会した。

2日目に行われた一般質問には、西村祥夫氏、三浦征弘氏の2氏が登壇した。

令和元年度 一般会計補正予算

<主な内容>

○プレミアム付商品券事業 補正額430万3千円

消費税10%への引き上げに伴う家計の負担緩和や地域の消費下支えのため、プレミアム付商品券を発行するもの。対象は、①住民税非課税の方は、一人につき最大2万5千円の商品券を2万円で購入できる。②2016年4月2日から2019年9月30日までに生まれた乳幼児のいる子育て世帯は、乳幼児一人につき最大で2万5千円の商品券を2万円で購入できる。

○豚コレラ対策に伴う補助作業員賃金と消耗品の計上 補正額24万6千円

《補正予算質疑》

問（西村） 公用車(プリウス)の更新が予算計上され、同様の車種を想定しているとのことであるが、もっと使い勝手の良いミニバンなどにしたほうが良いと思われる。車種に対するこだわりでもあるのか。

答（総務課長） 車種に対するこだわりはない。

問（三浦清） スキー場をはじめ王滝の観光施設等公園も含めみすばらしい。今後使わないことを前提で最低の修理を行っているようだが、もっと前向きに、きれいな村づくりが出来ないか（スキー場だけ見ても暗い感じがする。）知恵を出し投資をお願いします。

平成30年度 一般会計決算認定

平成30年度の一般会計決算額は、歳入総額20億6,302万7千円、歳出総額19億6,151万1千円であった。平成29年度との比較は歳入2億2,859万1千円の減、歳出2億5,292万の減となり、歳入歳出ともに昨年度と比較して大幅な減額となった。収支状況は、実質収支が9,752万円の黒字決算となり、実質単年度収支は6,346万4千円の赤字決算となった。歳入の執行状況は、執行率100%で調定額に対する収入未済額は2,089万4千円であった。

また、現年課税分、滞納課税分を合わせた村税の徴収率は91.8%で、前年度より0.1%の増となっている。滞納額は1,616万7千円（1,938万4千円）で前年度より321万7千円、率では19.9%減となった。

歳出の予算に対する執行率は95.4%である。



豚コレラ対策（役場玄関）

【結 語】

(一般会計・特別会計)

◇齋藤代表監査委員・三浦監査委員の合同意見

平成30年度の予算は、王滝村第4次長期振興計画（後期基本計画）に基づき、限られた財源を有効かつ合理的に活用し、「村民の安全安心なくらし」や「くらしを支える基盤整備」を始め地方創生に取り組み、着実かつ計画的な村政運営に努力されているものとして認識している。今後においても平成27年度に策定された王滝村総合戦略を全庁職員の共有と努力により着実に成果があげられるよう期待したい。

平成30年度の決算状況について、平成30年度末の財政調整基金残高は13億4,472万円で前年度比較8,380万円の減少、一般会計が保有する特目基金の残高合計は2億9,844万円で5,162万円の減少となった。

地方債残高は、一般会計21億6,782万円で前年度と比較して6,403万円の増加、公営企業債等は1億6,439万円で前年度比較1,858万円の減少で、総額では4,545万円の増加である。

村の財政運営を財政指標で見ると、財政力指数は0.21で0.01ポイント増加、経常収支比率は80.5%で1.8ポイントの増加、公債費負担比率は12.6で2ポイント増加しており、今後ともこれら指標の推移を注視し、安定した財政基盤の確立に向けて取り組まれるよう要望する。

次に、一般会計の歳入において、自主財源の柱である村税の現年・滞納繰越分を含めた収納率は、



築後65年経つ役場庁舎



決算審査のようす

前年度より0.1ポイント上昇の91.8%となっており、収納対策取組に一定の成果を上げていることが確認できる。しかしながら、村税の収入未済合計額は依然として多額であり、収納対策は自主財源の確保及び税負担の公平性の観点から重要な課題であることから、引き続き効果的かつ効率的な滞納整理に努められるとともに、収入未済の発生防止の取組を強化されるよう望むものである。

また、住宅家賃や土地貸付料、国保税、水道使用料などの未納対策についても村税と連携して納付促進に努められるよう要望する。

次に、災害発生時において村役場は復旧・復興対策の主体として重要な役割を担う一方、災害時であっても継続して行わなければならない通常的な業務を抱えている。特に近年は想定を超えた災害が全国的に発生しており、また当村においても例外ではない。人口減少や少子高齢化で財政状況が厳しさを迎えているところであるが、現在の役場庁舎は築後65年が経過しており、防災拠点としての役割を担う最重要施設でもあるため、財政状況に鑑み、人口減少を見据え、住民ニーズに対応した取組みを、村民の利用度が高い公民館とともに迅速に進められるよう要望する。

最後に、平成27年に王滝村の総合戦略が策定され、基本目標及び重要業績評価指標（KPI）の進捗状況が毎年公表されているところであるが、基本目標5項目すべてにおいて「努力を要する」という数値となっている。これら「総合戦略」や「王滝村長期振興計画（後期基本計画）」に基づく施策や事業を着実に推進するためには、村組織

において柔軟に対応し、効果的で実効性の高い人材の育成が不可欠であると考える。

「地域力の創造・地方の再生」においては地域おこし協力隊や集落支援員の制度のさらなる活用と、財源確保においては、各種の交付金や補助金の活用、ふるさと納税の取り組みなどトライとチャレンジの精神をもって積極的に取り組んでいただきたい。

行政の力を最大限発揮できる組織体制を築き、村民協働のもとで目標実現に向け、限られた財源の中で効率的かつ効果的な行財政に努められるよう要望する。

(財政健全化判断比率)

◇齋藤代表監査委員・三浦監査委員の合同意見

平成30年度の決算は、一般会計、特別会計ともに実質収支は前年度に続き黒字であったが、財政調整基金の積立と繰入を含めた実質単年度収支は、6,346万円の赤字となった。財政健全化判断比率は、実質公債費比率6.1%と前年度に比較し、0.6ポイント上昇した。

今後、更に人口減少や普通交付税の減少により財政難が予想されることから、限られた財源のなかで効率的な村政運営が行われるよう期待する。



決算審査講評（9月3日）

(公営企業観光施設事業会計)

◇齋藤代表監査委員・三浦監査委員の合同意見

観光は、村の基幹産業であり、特におんたけスキー場は冬季における観光客誘客に必要不可欠の施設であると考えます。このことを深く認識し、スキー場が将来にわたって継続的に健全な形で営業され、スキー客の増加を図るにはどのような方策が良いか、村民の意見もしっかり反映し運営されるよう強く要望する。

また、村は過去、おんたけスキー場を直営で営業し公営企業法適用会計で扱ってきた。現在、スキー場の運営はおんたけ2240として指定管理者制度に変更し、公営企業法適用会計を継続しているが、一般会計への変更の可能性も含め前向きに進めていただきたい。

○財政収支の状況

項 目	28年度	29年度	30年度
歳 入	2,303,558	2,291,618	2,063,027
歳 出	2,221,608	2,214,435	1,961,511
形 式 収 支	81,950	77,183	101,516
翌年度に繰り越すべき財源	3,545	0	3,966
実 質 収 支	78,405	77,183	97,520
前年度実質収支	85,769	78,405	77,183
単年度収支	▲7,364	▲1,222	20,337
基金積立金(財調分)	288,171	228,639	168,244
繰上償還金	0	0	0
基金とりくずし額(財調分)	152,827	426,494	252,045
実質単年度収支	127,980	▲199,077	▲63,464

一般質問「そこが知りたい」

本文は答弁も含め質問者の執筆をもとにしています

王滝村の観光のあり方

西村 祥夫

1 御嶽山王滝登山口の復興見通しについて

問 天候不順の影響によって、頂上山荘の修復等見通しが立たない状況に陥っているが、現段階における作業の進捗状況はどのようになっているか。また来年度の見通しはどうか。王滝側からの登山が可能になったとして、田の原の施設については老朽化が激しくて、信者からはとても利用する気持ちになれないと毎年言われている。王滝側からの登山再開を切望する声もある中で、施設の更新が急務と考えられるが、村長はどのように考えているのか。また、村民からはスキー場にばかり金をかけているとの声も届いている。遅きに失した感はあるが、早急に年間を通した王滝村における観光の在り方を検討していく必要があると思われる。村長の現状認識と今後の対応についてお聞きしたい。

答 7月からの天候不順により工事がかなり遅れているが、避難小屋に関しては今日現在ほぼ終了している。シェルターについては、資材はすでに上がっているがかなり遅れていて10月にずれこむ見込みとなっている。9合目から上の登山道や無線の整備は9月中に終了する見込みである。頂上山荘は今年度から来年度にかけて解体をおこない、来年度に新築をする予定である。頂上山荘から上のシェルターについては条件的に相当厳しいものがある。

田の原の施設については老朽化は充分認識している。来年夏には頂上山荘まで登れるようになる見込みもあり、何らかの対応が必要ではあるが、多額の費用がかかることから今のところ具体的な計画はない。財源の確保が先となる。

年間を通した観光政策については、第4次長期

振興計画にも載せているところであるが、これからは行政主導よりも民間主導が望ましい。木曾おんたけ観光局(DMO)も設立されたが、まだ不十分なところもある。組織も一新されたことから、今後はDMOを核とした様々な活動に対して行政として予算措置を講じたり協力していくという形が望ましい。

問 事情は分かっているが問題は田の原である。特にトイレの老朽化が激しくてお客さんにも迷惑をかけている。まずトイレの改修など具体化できるところから始めるべき。王滝村の現状と将来に対する不安の声が村民の間にあるなかで、計画を策定して村民にも周知していくことが肝要と思う。DMOも予想どおりの展開と思われ、目に付くような実績は見られない。民間主導というが、王滝村では人材に乏しく無理がある。やはり村が覚悟を持って早くやるべきと思うが具体的に進めていく余地はあるか。

答 何よりもまず財源の確保が必要であるが、現在の過疎法は令和2年度までとなっており、3年度以降の具体的な計画は立てられない。田の原に建設予定のビジターセンターは、公衆トイレと若干の情報提供スペースとなっており、財源の確保はできているが予算規模は決まっておらずトイレの規模を大きくするなどの措置はできない。



田の原公衆トイレ

問 いろいろな制約があることは分かっているが、田の原施設への取り組みを具体的に早く進めてもらいたい。

2. 村内の環境整備について

問 以前にも質問したことであるが、王滝村は環境整備が非常に遅れている。職員実行もされているが、とても間に合っているとは思えない。村の管理物件にもかかわらず今までほとんど整備されたことがなく、村民からも汚いところが多いという声が出ているが、ここまで放置してきた理由は何か。観光立村をうたいながら恥ずべきこととの認識が全く感じられない。村長の現状認識をお聞きしたい。

答 状況は認識している。道路の沿線などは業者発注や職員実行もおこなっており、また村民にも助けていただいている。業者発注については事業単価が以前の倍にもなっており、予算の都合もあって2回程度実施している。個人の土地については基本的に所有者の責任となる。県道についても県に要請はしているが、予算不足とのことで思うようには実施してもらえていない。

問 大又テニスコートや村営住宅の周囲などあまりにも汚い。一部は職員が実施しているがとても間に合っているとは思えない。せめて幹線道路沿いなどは県に頼らず村民を募るなどしてきれいにしていくべきと思う。

また、空き家になっている個人の土地でも草が刈られることなく周囲に迷惑をかけているところがある。所有者に連絡して整備を促すなどの措置が必要。毎年7月に実施している各地区の草刈りを幹線道路沿いでも実施するように村民を募ることも考えてもらいたい。

あえて言うと、役場の入り口も草が伸び放題で見苦しいことこのうえない。7月以降2回、草を刈っただけで、こんなに周りが汚い庁舎は他にはないと思う。30分もあれば済んでしまう作業であり、何も管理職がやる必要はなく、若い職員に教育の意味でもやらせるべきである。

答 役場の周囲はきれいにしていく。また、村民のボランティアは賛同していただけるようであれば対応していく。

議会と行政の関係は？

三浦 征弘

1. 政治の基本について

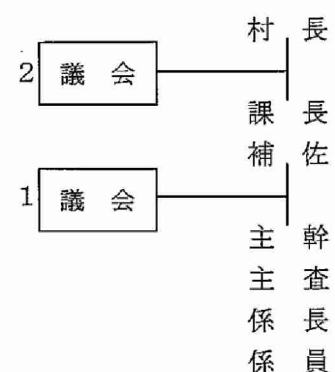
問 私は議会と行政の関係について疑問を持っています。議会の位置で次の1と2どちらが正しいと思いますか。

答 1と2どちらも間違っている

問 では正しいのはどれですか。

答 資料のとおりである。(本人にのみ提示)

問 その資料は理解出来ないが時間の関係で次に進みます。



2. 御嶽山噴火災害犠牲者追悼式について

問 御嶽山噴火災害犠牲者追悼式が行なわれるが私はそのやり方に大きな疑問を感じるが村長は何とも思わないか。具体的には名称は「御嶽山噴火災害犠牲者追悼式王滝会場」。実行委員会は「王滝村議会と木曾町議会」。委員長は「王滝村議会議長」。事務担当は「王滝村議会事務局」等々が正しいと思うが村長はそうは思わないか。

答 そうは思わない。それは平成28年に関係の実行委員会が開催され経緯からである。その実行委員会は去る6月決算報告を持って解散しています。

問 石碑が議長名であるから式典は議長がやるのが普通だ。村長がやるなら石碑は村長名にすべきだ、今年は間に合わないから板でやり来年石碑を取り替えるべきである。

答 今のやり方は正常であるので理解してほしい。



令和元年木曾広域連合 第3回定例会報告

令和元年第3回定例会を8月29日（木）木曾文化公園で開き、平成30年度の一般会計・介護保険特別会計の決算2議案を原案どおり認定。また、令和元年度の2会計の補正予算を原案どおり可決し、その日に閉会した。

（認定第1号）

○平成30年度木曾広域連合一般会計決算について
（歳入）39億8,769万1,921円、82,4%（前年比17,6%減）

（歳出）35億3,956万2,861円73,9%（前年比26,1%減）差引で4億4,812万9,060円となり、明許繰越による翌年度への繰越すべき財源として、3億7,652万8,000円を含んでいることから実質収支額は7,160万1,060円、前年比138,9%の黒字となった。

（主な要因）

前年度決算と比較し歳入・歳出共に決算額が減少したのは、ケーブルテレビ光化促進事業として、第1期分工事が増加したこと、また、大型事業であった新ごみ施設建設事業が終了し工事費が皆減となり、関連する町村負担金及び国の交付金収入などが減少、また、道路橋、第1期定期点検分終了に伴い委託料が皆減したこと。また、光化促進事業第1期分工事の一部は翌年度繰越を行っている。

（認定第2号）

○介護保険特別会計決算の認定について

（歳入）が40億6,838万7,984円、99,6%（前年比0,4%減）

（歳出）が39億4,454万4,624円100,1%（前年比0,1%増）で実質収支は1億2,384万3,360円の黒字となっている。

総務文教常任委員会報告

小村が抱える共通の課題解決に向けた連携をすすめるための意見交換会を10月9日、平谷村役場で開催した。

平谷村は長野県の自治体では最少の418人（令和元年9月現在）議員定数は8。

今後も長野県内の人口1,000人未満の自治体議会との意見交換会を行いながら連携組織の結成につなげていきたい。

なお、この実質収支額には、令和元年度会計にて精算を行う平成30年度の国・県交付金など含まれている。

（報告第1号）

○公共下水道事業における、資金不足比率について
この案件は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づくものであり、当連合が管理運営している汚泥集約センターの資金収支に係るもの（議案第18号）

○令和元年度木曾広域連合一般会計補正予算第2号について

（主な内容）

総務費で繰越財源に伴う情報施設財政調整期金積立金9,022千円、木曾町三岳地籍で光ケーブル延長架線に伴う工事負担金が4,044万1千円増となったことにより分担金・負担金及び繰入金への調整として、2,421万7千円を減額補正するもの。また、財産運用収入として、ふる里基金の国債運用に係る売買差益として1,535万1千円を計上、介護保険低所得者保険軽減に係る国庫負担金855万円など

（議案第19号）

○令和元年度木曾広域連合介護保険特別会計補正予算第2号について

（主な内容）

30年度決算により、国・県・町村への精算金が確定し繰越金を増して計上。また、支払準備基金6,209万9千円の積立と償還金として返還を行うもの。

なお、町村返還分は、給付費と一般事務費を併せ44,823千円程度。

（全員協議会）

- 1 会計年度任用職員制度についての方針について
- 2 森林経営管理制度に係る広域連携事業についての中間報告について



平谷村議会との意見交換会（10月9日）

請願と陳情

9月定例会で審議された請願・陳情等の採決不採択状況は下記のとおりです。

- 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める陳情書（資料配布）
- 「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書の採択について（採択）
- 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情（資料配布）

副村長

- 副村長に越原道廣氏（中越区）が議会の同意を得て選任された。任期は令和元年10月1日から令和5年9月30日までの4年間。

教育委員

- 任期満了に伴う王滝村教育委員会教育長に栗空敏之氏（東区）が議会の同意を得て再任された任期は、令和元年10月1日から令和4年9月30日までの3年間。
- 任期満了に伴う王滝村教育委員会委員に、家高敏彰氏（東区）が議会の同意を得て再任された。任期は令和元年10月1日から令和5年9月30日までの4年間。

《 編集後記 》

10月7日、白巣峠から付知までの林道視察をしてきました。路面はそれほど荒れてはいませんが、崖に近いような急峻な斜面を縫う岐阜県側の林道を一般車両に開放するのは現状ではとても無理だと思いました。ただ、走ってみると素晴らしい景観のところも多く、これが自由に往来できたらとても面白いとも感じられて、王滝村の袋小路解消のためにも改良促進に向けた運動は続けなければならぬと強く思いました。（祥）

議会日誌

- 6月
- 12日 村議会6月定例会（1日目）・スキー場特別委員会・第4回議会運営委員会
 - 19日 村議会6月定例会（2日目）・第3回議会全員協議会・議会だより編集委員会
 - 23日 木曾郡消防ポンプ操法大会（南木曾町）
 - 25日 木曾郡町村議長会
 - 26日 御嶽山噴火災害犠牲者慰霊碑建立実行委員会（木曾町）
 - 28日 おんたけ観光局総会（木曾町）
- 7月
- 1日 御嶽山開山式（王滝口）・長野県市町村総合事務組合事業説明
 - 10日 御嶽山奥社開山祭
 - 11日 木曾郡議長会・木曾地域振興局との意見交換会（木曾町）
 - 16日 議会だより（145号）発行
 - 18日～19日 全国森林環境税創設促進議員連盟総会（和歌山県）
 - 27日～28日 御嶽神社例大祭
 - 31日 村議会7月臨時会
- 8月
- 1日 木曾郡町村議会議員総会（上松町）
 - 2日 長野県町村議長会役員会（長野市）
 - 5日 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会8月臨時会（塩尻市）
 - 8日 第66回 御嶽山大御神火祭（木曾町）
 - 15日 王滝村成人式
 - 19日 木曾広域連合議会 議会運営委員会・総務常任委員会（木曾町）
 - 21日 木曾広域連合議会 福祉環境常任委員会・経済観光常任委員会（木曾町）株式会社 王滝ツーリズムとの意見交換会
 - 23日 木曾南部直轄砂防推進協議会総会（上松町）
 - 27日 村議会8月臨時会・第5回議会運営委員会
 - 29日 木曾広域連合議会第3回定例会（木曾町）
- 9月
- 3日 平成30年度 決算審査講評・御嶽山奥社閉山祭
 - 8日 福祉健康の集い・「おんたけ市民の森 葵の小道」植樹祭
 - 11日 村議会9月定例会（1日目）

